

オリジナルキャラクター「エコぞう」誕生

センターをより身近に感じてもらいたいとの想いを込めて、オリジナルのエコ・キャラクターを制作しました。今後、センターのホームページやチラシなどに登場させていくので、ぜひかわいがってくださいね。そしてエコぞうくんと一緒に環境保全活動の「初めの一步」を踏み出してもらえたら嬉しいです!

ちなみにこのエコぞうくん、カラダの一部に「eco」の文字が隠されています。見つけられるかな?

みんなと一緒に楽しく
エコについて学ぶゾウ♪



環境活動の啓発に役立つ場合のデザイン使用は自由だゾウ。事前に三重県環境学習情報センターまで連絡してね。

他にもいろいろなポーズのエコぞうがいます。詳細はこちらから <http://www.eco-mie.com/intro/ecozou/index.html>

環境活動のPRができる!

今月の企画展示 6~8月

2010年1月以降 今月の企画展示 出展募集! センター/三浦まで



6月

第4管区海上保安本部

海上保安庁のお仕事は海で起こる様々な事故や犯罪を防ぐことですが、海からみた環境問題をより身近に捉えられている部署ではないかと思えます。

生活をする上で水がないと私たちは生きていけません。一方で、海を汚す大きな原因も私たちが出す生活排水で、全体の62%にもなっています。しかし、その使い方・処理の仕方を少し工夫するだけで海のごよれは減ってきます。

<食器を洗うときの小さな工夫>

- ・食事は残さず食べる。調理の汚れは要らない布や紙で取り除いてから洗う。
- ・洗剤はできるだけ少なく使う。・・・など。

ひとりができることは小さくても、みんなが同じ気持ちになることで、きれいな海を守ることができます。自分たちのできることから始めたいですね。

7月

NPO法人 サルどこネット

「NPO法人 サルどこネット」は野生鳥獣により、農林水産業等に被害を被る住民等に対して被害対策を普及啓発するNPOで、野生鳥獣に関する調査や被害対策の研究を行っています。サルに電波発信機を装着し、その位置情報を調査員が把握し地域住民にインターネットメールで情報を提供しています。

野生ザルには、群れザルと離れザルが存在します。人間でいうと中学生ぐらいの雄ザルは群れを離れ、離れザルとして単独又は数頭で生活をします。群れザルは雌ザルが中心となります。群れザルも離れザルも山や山裾で生活をしていますが、山の食べ物より畑の食べ物の方が美味しいと学習すると畑に執着するようになり、畑に頼る生活を覚えてしまいます。

野生鳥獣の生活様式は、その地域住民の生活スタイルを反映し、鏡のように人間の生活を映し出しています。上手に共存していくには、どうしていったらいいのかを考えさせられる展示でした。

8月

花王株式会社

ごみを減らす3原則は①リデュース②リユース③リサイクルです。「花王株式会社」の環境への取り組みは、その3Rをもとに「いっしょにeco」がキャッチフレーズです。

商品提供においては

- ①容器の原料を減らす……リデュース。
- ②容器を繰り返し使う……リユース。
- ③ごみではなく資源として出す……リサイクル。・・・です。濃縮洗剤にすることによって容器の大きさを小さくし、ごみの量を半分に減らすことに成功しました。

1日、ひとりが出すごみの量は1.1キロ。4人家族なら4.4キロ。これが1週間・1か月となるとすごい量になりますよね。また、家庭ごみの約60%が容器包装です。ごみを減らすには、こういった企業の商品開発の努力が大きいですね。



ようこそ!&訪問しました

7~9月

三重県環境学習情報センターでは社会見学・環境学習体験教室の受入を行っています。

環境学習情報センターに来館してくれた小・中学校

鈴鹿	神戸小学校(6年) 椿小学校(5年)
津	大里小学校(4年) 高野尾小学校(4年)

環境学習情報センターが訪問した小・中学校

四日市	中部西小学校(4年)
鈴鹿	椿小学校(4年)
いなべ	立田小学校(5年)
津	大里小学校(4年)、豊津小学校(4年)、西が丘小学校(4・5年)
尾鷲	賀田小学校(4年)

センターで
待ってるゾウ♪

